

データヘルス計画策定チェックリスト

広域連合名	
--------------	--

		実施事項	実施	未実施
1. 計画の基本的事項				
(2) 計 画 の 位 置 づ け	(標準化の推進)			
		標準化の推進に向けて、国が示した計画策定における考え方のフレーム（構造的な計画様式）や評価指標を参考に策定したか。		
	(他の法定計画等との調和)			
		関連する他の計画（都道府県健康増進計画、都道府県医療費適正化計画、都道府県介護保険事業支援計画、国保の保険事業の実施計画と調和のとれたものとしているか。		
		その際、データヘルス計画との関連項目・関連目標を確認し、後期のデータヘルス計画において推進・強化する取組等について検討したか。		
		市町村や取組を実行していく上で連携が必要となる関係者等に共有し、理解を図ったか。		
(3) 保 険 者 の 役 割 者 及 被 保 険 者 の 関 係 者	①広域連合の役割			
		構成市町村の意見を十分に聞きながら計画の策定等を進めたか。		
		【計画策定に係る業務を委託する場合】 計画策定の全プロセスに関して、保険者による主体的な検討を十分に行ったか。		
		実施事項	実施	未実施
(1) 基 本 的 事 項	① 計画の趣旨			
		国指針や一体的実施などの近年の動向等を踏まえ、広域連合が策定するデータヘルス計画の趣旨や背景、目的等について記載しているか。		
	② 計画期間			
		他の保健医療関係の法定計画（医療費適正化計画や医療計画等）との整合性を考慮しているか。		
	③ 実施体制・関係者連携			
		(実施体制の明確化) / (外部有識者等の参画の明確化)		
		1. (3) ①「広域連合の役割」（P 5）を踏まえ、市町村や外部有識者等の関係者との連携体制について明確化しているか。		
	1. (3) ②「外部有識者等の役割」（P 8）及び③「被保険者の役割」（P 7）を踏まえ、外部有識者等や被保険者の参画について記載しているか。			
		その際、具体的な参画の方策（外部有識者等や被保険者が参画する会議体（既存の会議体を含む。）を活用する等）も明確化しているか。		
(2) 現 状 の 整 理	① 保険者の特性			
		被保険者の年齢構成、性別などのデータを把握し、被保険者がどのような特徴を持つ集団であるかを記載しているか。		
		広域連合は、都道府県内の全体的な状況と合わせて、構成市町村別の状況についても同様に把握し、経年変化も含めて記載しているか。		
	② 前期計画等に係る考察			
		計画策定（改定）を行う場合には、前期の計画全般の考察を行っているか。		
		これまでに実施した保健事業に関して、考察を行う（保健事業の棚卸し）など、実績に基づいた保健事業の改善を検討しているか。		
		上記考察に当たっては、健康課題のうち、現在実施している保健事業による対応状況も明らかにして記載しているか。		

(3) 健康・医療情報等の分析結果に基づく健康課題の抽出	ア. 健康・医療情報の分析		
	(全体像の把握)		
	データにより、被保険者の健康状況に係る全体像を把握しているか。		
	その際、計画様式Ⅱに掲げる情報を参考にして分析を進めたか。又は計画様式Ⅱを活用して分析を進めたか。		
	市町村と必要な情報の共有を図っているか。		
	(KDBシステム等の活用)		
	KDBの活用を基本としつつ、各種データベースを活用し、データ分析をしているか。		
	KDBに係る操作研修の受講、他保険者等の計画におけるKDB活用の好事例の情報収集等に努めているか。		
	(他との比較分析等)		
	全国平均との比較、構成市町村間の比較、経年比較する等、比較分析をしているか。		
	計画策定を委託業者に外部委託した場合、保険者等が自らKDB等を活用する等により、的確な比較分析をしているか。		
	二次医療圏域ごと、構成市町村ごとについて、比較分析をしているか。		
	(質的情報の分析、地域資源の把握)		
	健康課題の抽出のため、地域特有の質的情報の分析や地域資源の把握あるいは構成市町村等との情報共有による把握をしているか。		
	(各情報を統合した分析)		
	健診データ、レセプト（医療・介護）データ、介護データ、質的情報等の様々なデータについて、全国平均・市町村間比較・経年変化などの視点から整理・統合し、広域連合の介入可能性を含めて背景・要因の分析をしているか。		
	イ. 健康課題の抽出・明確化		
	(保健事業の対象となる健康課題の抽出・明確化)		
	上記アの分析結果に基づき、前期計画の評価も踏まえ、広域連合がアプローチする健康課題を抽出・明確化し、関係者と共有しているか。		
	(他保険者等との連携による健康課題の抽出・明確化)		
健康課題をより明確にするため、情報交換を行うなど他保険者等と連携をしているか。			
広域連合及び市町村国保は、保険者等における健康課題の分析結果等の、連携をしているか。			

(4) 目 標	ア. 目的の設定		
	抽出された健康課題と対応して設定しているか。		
	イ. 目標の設定		
	(目標の設定)		
	各年度、計画の中間年度等といった経過ごと、異なる視点ごと等に設定しているか。		
	(目標の期間)		
	短期的な目標と中長期的な目標を設定しているか。		
	中長期的な目標は、計画の最終年度までに達成を目指す目標を設定しているか。		
	短期的な目標は、原則として年度ごとに、実施状況に関する目標や達成度合に関する目標を設定しているか（事業目的の達成のために適当な時期を設定することも考えられる。）。		
	各々の目標は、抽出した健康課題に対応して設定しているか。		
	(広域連合における目標の視点)		
	国が共通の評価指標として定めた「データヘルス計画の総合的な評価指標」を含めて、アウトプット・アウトカムを中心に目標設定をしているか。		
	計画策定の際に、保険者として確認することが必要なデータについて、把握しているか。		
	(数値を用いた目標設定)		
具体的な数値により根拠をもって設定しているか。			
(5) 保 健 事 業 の 内 容	ア. 計画に記載する保健事業の選択・優先して取り組む事業等		
	(保健事業の選択・優先して取り組む事業等)		
	抽出された課題や目標を十分に踏まえ、保健事業を選択・優先して取り組む事業等を検討しているか。		
	保健事業の選択・優先して取り組む事業等は、広域連合によるアプローチが可能な課題であるか、費用対効果、影響する人数が多いか否か（対象者の規模）、予防可能な疾病か、改善可能性が高いか、緊急性があるか、地域特性や社会環境を踏まえたものとなっているか。		
	設定した目標に応じ、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを組み合わせ設定しているか。		
	(高齢者の特性を踏まえた事業展開)		
	高齢者保健事業の中心となる一体的実施において、各市町村におけるハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチの実施状況等を踏まえ、市町村と十分に相談・検討した上で計画を策定しているか。		
	構成市町村に対して事業を委託する場合、事業がPDCAサイクルに沿って推進されるよう、現状分析や事業評価等の進捗評価を行うなど、構成市町村の実施を支援する仕組みを有しているか。		
	広域連合が目指す高齢者保健事業の目的・目標を構成市町村と共有し、達成に向けて広域連合が取り組む具体的な内容や市町村との関わり方について記載しているか。		
	具体的な保健事業の実施にあたり、高齢者の保健事業のあり方検討ワーキンググループにおいて策定されるガイドライン等を活用しているか。		
	イ. 保健事業に係る実施内容等の明確化・標準化		
	保健事業ごとに「事業の目的」、「事業の目標」、「評価指標（アウトプット・アウトカム）」等を整理し、計画に記載しているか。		
	設定したアウトプット・アウトカムを達成するために必要となる、広域連合の取組内容（プロセス）及び体制（ストラクチャー）について、保健事業毎に計画を策定しているか。		

(6) 評 価 ・ 見 直 し	ア. 評価の時期		
	評価指標や評価指標に要する情報源・その取得方法について、計画の策定段階であらかじめ設定しているか。		
	評価指標に基づき、計画の最終年度のみならず、中間時点等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行うことを計画に記載しているか。		
	計画の最終年度においては、当該最終年度の上半期に仮評価を行うことなどについても考慮しているか。		
	イ. 評価方法・体制		
	短期では評価が難しいアウトカム（成果）による要素を含めた評価を行っているか。		
	評価は、K D B 等も活用し、可能な限り数値を用いて行っているか。		
	評価方法（評価に用いるデータの入手時期、方法を含む）・体制について、あらかじめ計画に記載しているか。		
	評価に当たって、市町村に委託している保健事業の評価を連携して行うなど、市町村との連携・協力体制を整備しているか。		
	ウ. 計画に盛り込む個別の保健事業に係る評価		
個別の保健事業について、計画の目標等を踏まえた評価指標を個別に設定し、毎年度、評価を行った上で、必要に応じて翌年度の事業の見直しを行っているか。			
これらの評価については、可能な限り数値で評価を行っているか。			
(7) 計 画 の 公 表 ・ 周 知	計画は、公表しているか。		
	ホームページや広報誌を通じた周知のほか、地域の関係団体経由で医療機関等に周知し、配布しているか。		
	公表・配布に当たっては、被保険者、保健医療関係者の理解を促進するため、計画の要旨等をまとめた簡易版を策定する等の工夫をしているか。		
	他の計画の策定者や、データヘルス計画を実行していく上で必要となる関係者に、課題及び優先して取り組む課題、対応策、目標、目標達成のために協力を仰ぐこと等についてデータヘルス計画を用いて説明し、理解を得られるようなプロセスを踏んだか。		
(8) 個 人 情 報	(個人情報に関する法令等の遵守等)		
	各種法令・ガイドラインに基づき、庁内等での利用、外部委託事業者への業務委託等の各場面で、個人情報の適切な取扱いが確保されるよう措置を講じているか。		
	健診結果やレセプトデータ等を外部の委託事業者に渡す場合は、組織的、人的、物理的、技術的な安全管理措置及び外的環境の把握等に留意して委託仕様等を作成するとともに、委託先において当該個人データの安全管理措置等が適切に講じられるよう、保険者等が必要かつ適切な管理、監督をするなど、個人情報の管理に万全の対策を講じているか。		
(9) 取 組 に 括 地 域 ケ ア の ア 包	ア. 地域包括ケアに係る取組		
	介護保険サービスを利用する被保険者が相対的に多いという保険者特性を踏まえ、地域包括ケアに係る分析や課題抽出、保健事業等について、記載しているか。		